



愛川ふれあいの村7月の風景

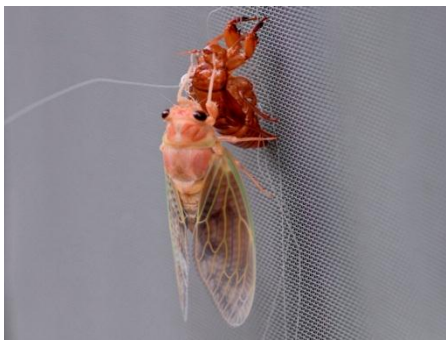
平成24年 7月 自然のたより

梅雨があげ、柔らかくなった地面からは長い年月地中で過ごしたセミたちが羽化を、幼鳥が親から離れひとりだちしている姿が見られました。自然の躍動感を感じる季節となりました。

<7月の自然のエピソード>

第1 薪倉庫前のクヌギの樹液のにおいに誘われたスズメバチ、アオカナブン、カブトムシ、スミナガシなどの昆虫が集まり、夢中で樹液を吸っています。仲良く吸ってると思いきや、独り占めしようと戦っている姿も…。

虫たちのオアシス、樹液のドリンクバーも鳥たちにとっては、えさ場になり食べカスが落ちていました。



羽を乾かしているアブラゼミ



スミナガシVSアオカナブン



甲虫の羽を運ぶアリ



幼虫 羽にきたカノコガ



ツチイナゴの幼虫



カスリノ葉とカウリハムシ



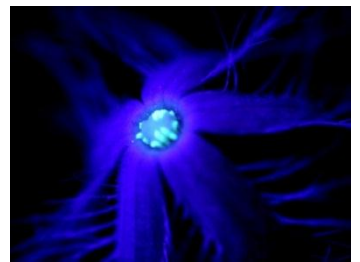
犯人は誰?



アキノタムラソウ



オオシオカラトンボ



紫外線光で写したカウリ



ハクセキレイの幼鳥



チュウガタゴガネグモ



望遠鏡から見たお月様



マメコガネ